

臨床ニーズのあるデバイスを確実に製品化するしくみの構築に向けて
 (独)国立循環器病研究センター、新幹工業(株)、(株)大塚製薬工場、(株)マルイ

そびえ立つ治験・薬事申請のハードル

- 臨床ニーズのある医療機器の製品化を促進させる体制・システム作りが急務
- 臨床現場での課題を解決するために「①バイオバルブ」「②幹細胞分離デバイス」「③トレーニングシミュレータ」の3つのデバイス開発が必要。

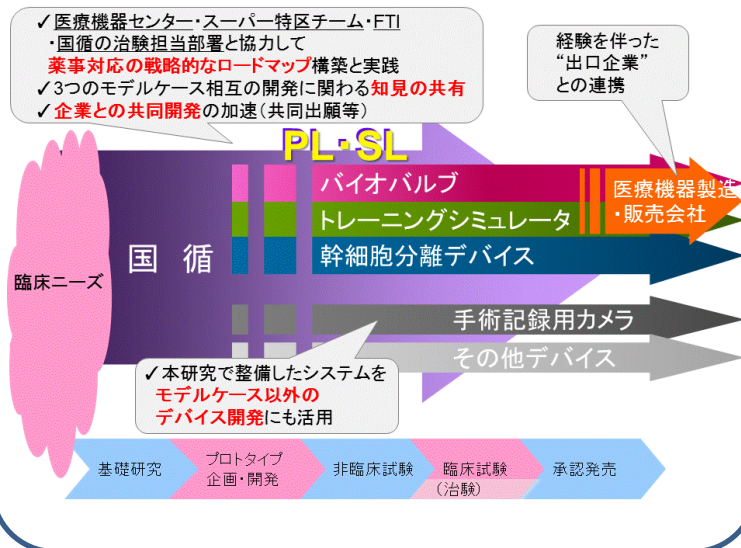
臨床応用を考慮した事業化推進を実現

- 企業と国循研究者からなる研究開発コンソーシアムの立ち上げと研究開発を支援する連合的な体制基盤の整備を実施
- モデルケースの3つのデバイス開発を推進
- 薬事対応および企業との共同出願等を加速

新幹工業・大塚製薬工場・マルイ:ものづくり技術活用

- ①新幹工業:高分子製品の精密設計加工
- ②大塚製薬工場:プラスチック製品精密設計加工
- ③マルイ:特殊装置による材料測定、装置設計等

研究開発コンソーシアム



技術を活用するための装置



本事業によりデバイスの作製能力が向上